

報道関係者各位

## “今読みたい韓国文学”に出会える 第1回「K-BOOK in TOKYO」開催

駐日韓国文化院では、韓日両国で大きな話題を集めている韓国書籍を多角的に紹介する「K-BOOK in Tokyo」を今年初めて開催する運びとなりました。代官山 蔦屋書店の協力のもと、7月3日（金）から23日（木）まで駐日韓国文化院および代官山 蔦屋書店にて開催します。

本イベントは、日本の読者が韓国文学の“今”と多彩な魅力を体感できるよう、K-BOOK TALK、K-BOOK 展示、K-BOOK フェアの3つのプログラムで構成しました。

K-BOOK TALK では、日本の本屋大賞 翻訳小説部門で1位と3位を受賞したファン・ボルムとキム・ホヨンをはじめ、韓日を代表するSF作家のチョン・セランと小川哲、さらに近年エッセイストとしても活動する俳優のムン・ジョンヒなど、韓日両国の人気作家や翻訳家、出版関係者を迎え、執筆の裏話や日本での反響について語っていただきます。また、両国で注目を集める書籍・絵本100余冊を一堂に集めたK-BOOK 展示と、今触れるべきK-BOOKの魅力を広く紹介するK-BOOK フェアを通して、韓国文学のトレンドをお届けします。

つきましては、本イベントの周知にご協力いただけますようお願いいたします。資料のご依頼、ご取材のお申込については、韓国文化院までご連絡ください。

### 【イベント概要】



#### ■日時・会場：

##### －K-BOOK TALK

- ①7月3日(金) 19:00、代官山 蔦屋書店
- ②7月4日(土) 14:00、駐日韓国文化院 ハンマダンホール
- ③7月11日(土) 14:00、駐日韓国文化院 ハンマダンホール

－K-BOOK 展示：7月3日(金)～23日(木)、駐日韓国文化院 2F ラウンジ

－K-BOOK フェア：7月3日(金)～16日(木)、代官山 蔦屋書店

#### ■アクセス：

- －韓国文化院：地下鉄メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅より徒歩3分
- －代官山 蔦屋書店：東急東横線 代官山駅中央口より徒歩5分

■内容：韓国と日本の作家によるブックトーク、図書展示、ブックフェア

■参加：無料（ブックトークは要事前申込）

■主催：駐日韓国大使館 韓国文化院、韓国出版文化産業振興院

■協力：代官山 蔦屋書店

【お問い合わせ】 駐日韓国大使館 韓国文化院 ☎03-3357-5970 △www.koreanculture.jp

イベント担当 蔡涼信（チエ・ギョンシン） / 広報担当 趙恩京（ジョ・ウンギョン）

## 【プログラム】

### K-BOOK TALK ※事前申込制（韓国文化院ホームページから応募）

#### (1) BOOK TALK 1 作家対談 - 代官山 蔦屋書店

- ・内容：本屋大賞受賞作家 キム・ホヨン×ファン・ボルム。蔦屋書店コンシェルジュが案内する2つの物語の世界。
- ・日時／会場：7月3日（金）19:00～20:00／代官山 蔦屋書店 シェアラウンジ
- ・登壇者：キム・ホヨン（作家）、ファン・ボルム（作家）
- ・進行：蔦屋書店 文学担当コンシェルジュ 河出真美
- ・参加人数：40名様（応募締切：6月21日㊤）

#### (2) BOOK TALK 2 作家と出版関係者とのトーク - 韓国文化院

- ・内容：本屋大賞受賞作『不便なコンビニ』と『ようこそ、ヒュナム洞書店へ』の日本での反響や裏話を出版関係者と深掘り。
- ・日時／会場：7月4日（土）14:00～16:00／駐日韓国文化院 2F ハンマダンホール
- ・登壇者  
〔1部〕キム・ホヨン（作家）、米津篤八（翻訳家）、皆川裕子（小学館 編集者）  
〔2部〕ファン・ボルム（作家）、佐藤香（集英社 編集者）
- ・進行：お笑い芸人 ピストジャム
- ・参加人数：300名様（応募締切：6月21日㊤）

#### (3) BOOK TALK 3 韓日 SF 作家の出会い&韓国ヒーリングエッセイの世界 - 韓国文化院

- ・内容：1部は韓国と日本のSF作家のブックトーク、2部は韓国のヒーリングエッセイを紹介。
- ・日時／会場：7月11日（土）14:00～16:00／駐日韓国文化院 2F ハンマダンホール
- ・登壇者  
〔1部〕チョン・セラ（作家）、小川哲（作家）、茅野らら（早川書房 編集者）  
〔2部〕ムン・ジョンヒ（エッセイスト兼俳優）、チェ・ゴンジュ（イベント企画プロデューサー）
- ・参加人数：300名様（応募締切：6月28日㊤）

### 〔K-BOOK TALK 登壇作家〕



#### 作家 キム・ホヨン / 注目作：『不便なコンビニ』

韓国の小説家、シナリオ作家、ストーリーテラー

キャリアの転機となった『不便なコンビニ』シリーズは、「K-ヒーリング・フィクション」という新たな潮流を生み出し、世界中の読者から愛されている。韓国国内だけでも180万部以上を売り上げた。

本作は現在、30以上の言語・50か国以上で出版されており、日本では2024年本屋大賞 翻訳小説部門 第3位を受賞した。7作目の長編小説『マイ・ドン・キホーテ』は、今秋日本で刊行予定。



#### 作家 ファン・ボルム / 注目作：『ようこそ、ヒュナム洞書店へ』

大学でコンピューター工学を専攻し、韓国の大手メーカーでソフトウェア開発者として勤務した後、30歳を過ぎてから執筆を始める。

『ようこそ、ヒュナム洞書店へ』は34言語に翻訳出版され、全世界累計100万部を突破した。2024年日本本屋大賞 翻訳小説部門第1位、2024 Goodreads Choice Awards 小説部門第3位受賞、2025年ダブリン文学賞口ングリストに選出。その他の著書に、エッセイ『毎日読みます』（集英社）『生まれて初めてのキックボクシング』『このくらいの距離がちょうどいい』『シンプル生活者』（いずれも未邦訳）がある。



### 作家 チョン・セラシ

**注目作：『私たちのテラスで、終わりを迎えようとする世界に乾杯』**

2010年に作品活動を開始。

著書に小説集『屋上で会いましょう』『声をあげます』、長編小説『八重歯が見たい』『地球でハナだけ』『アンダー、サンダー、テンダー』『J・J・J 三姉弟の世にも平凡な超能力』『保健室のアン・ウニョン先生』『フィフティ・ピープル』『シソンから、』などがある。チャンピ長編小説賞、韓国日報文学賞などを受賞。『保健室のアン・ウニョン先生』はNetflix オリジナルドラマとして映像化された。



### 作家 小川哲 / 注目作：『君のクイズ』

2015年に『ユートロニカのこちら側』（早川書房）でデビュー。

『ゲームの王国』（早川書房）で18年に日本SF大賞と山本周五郎賞受賞。23年に『地図と拳』（集英社）で第168回直木賞受賞。他に『君のクイズ』（朝日新聞出版）『斜め45度の処世術』（CEメディアハウス）など。

特に、『君のクイズ』は韓国でも翻訳出版され大きな人気を博した。



### エッセイスト兼俳優 ムン・ジョンヒ / 注目作：『マヌ物語』（未邦訳）

長年にわたり映画、テレビ、舞台を行き来しながら精力的に活動してきた俳優。演技者として数々の賞を受賞し、多くの観客から愛されてきた。

また、ゴールデン・レトリバーのマヌの“母”としても、幸せな7年間を過ごした。より多くの命が、より深くつながってほしいという願いを込めて、マヌと出会い、愛を交わした日々の記録を『マヌ物語』に丁寧に綴っている。

## ■ K-BOOK 展示

- ・内容：日本で注目を集めている最新の韓国文学から、話題の絵本まで約100冊を展示。  
「韓国文学の今」をいち早くチェックできる、トレンドが詰まった展示
- ・日時：7月3日（金）～23日（木）10:00～17:00 ※休館日：日曜日、祝日（7/17、7/20）
- ・会場：駐日韓国文化院 2F ラウンジ ※事前申込不要

## ■ K-BOOK フェア

- ・内容：代官山 蔦屋書店の文学ゾーンが、期間限定で韓国の本に染まる特別なフェア。話題の小説や美しい絵本、写真集など、今触れるべき多彩なK-Bookの魅力を広く紹介。
- ・日時：7月3日（金）～16日（木）
- ・会場：代官山 蔦屋書店 文学エリア ※事前申込不要

◀お問い合わせ：韓国文化院 蔡・趙 ☎03-3357-5970 ✉ [postmaster@koreanculture.jp](mailto:postmaster@koreanculture.jp) ▶